

平成 22 年 1 月 29 日

独立行政法人国立高等専門学校機構施設における吹き付けアスベスト等の
対策状況フォローアップ調査の結果について

I. 調査趣旨

本調査は、学校を使用する学生・教職員等の安全対策に万全を期すため、独立行政法人国立高等専門学校機構施設における吹き付けアスベスト等の対策状況を把握し、「学校施設等における吹き付けアスベスト等の対策状況フォローアップ調査等について（依頼）」（平成 21 年 9 月 8 日付 21 文科施第 55 号）に基づき、調査を行ったものである。

II. 調査概要

(1) 調査内容

平成 21 年 10 月 1 日時点の吹き付けアスベスト等の使用実態及び対策状況についてのフォローアップ調査を実施。

(2) 対象機関

独立行政法人国立高等専門学校機構の 51 校の国立高等専門学校を対象とした。

(3) 対象建材

平成 8 年度以前にしゅん功（改修工事も含む）した建築物に使用されている、吹き付けアスベスト、吹き付けロックウール、吹き付けひる石等。

III. 調査結果概要

(平成 21 年 10 月 1 日時点)

・ 調査対象国立高専	51 高専
・ 吹き付けアスベスト等があり、措置済状態ではないものがある国立高専（調査区分③）	2 高専

IV. その後の対応について

- ・ 措置済状態ではないものとされた上記 2 高専の吹き付けアスベスト等については、既に対策工事を完了している。

(問い合わせ先)

独立行政法人国立高等専門学校機構
本部事務局施設課長 後藤 勝
電話 042-662-3147

平成21年10月1日時点

吹き付けアスベスト等対策状況フォローアップ調査表

単位面積：㎡

機関種別	全機関数	調査中機関数	①吹き付けアスベスト等があるもの				②左記①のうち、措置済状態にあるもの				左記①のうち、措置済状態ではないもの								
			機関数 (室面積)	室数		通路部分面積	機関数 (室面積)	室数		通路部分面積	③損傷、劣化等による石綿等の粉じんの飛散により、ばく露のおそれがないもの				④損傷、劣化等による石綿等の粉じんの飛散により、ばく露のおそれがあるもの				
				日常利用室 (室面積)	その他の諸室 (室面積)			機関数 (室面積)	日常利用室 (室面積)		その他の諸室 (室面積)	通路部分面積	機関数 (室面積)	日常利用室 (室面積)	その他の諸室 (室面積)	通路部分面積			
高専校舎	51	0	17 (9,454)	156 (8,191)	20 (644)	- (619)	17 (9,454)	156 (8,191)	20 (644)	- (619)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)	
高専体育館			2 (227)	8 (140)	1 (16)	- (71)	2 (227)	8 (140)	1 (16)	- (71)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)	
高専宿舎 (学生寄宿舍、職員宿舎含む)			14 (17,441)	832 (13,621)	10 (207)	- (3,613)	13 (16,217)	810 (12,397)	10 (207)	- (3,613)	2 (1,224)	22 (1,224)	0 (0)	- (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)
船舶			0 (0)	0 (0)	/	/	0 (0)	0 (0)	/	/	0 (0)	0 (0)	/	/	0 (0)	0 (0)	/	/	/
計			20 (27,122)	996 (21,952)	31 (867)	- (4,303)	19 (25,898)	974 (20,728)	31 (867)	- (4,303)	2 (1,224)	22 (1,224)	0 (0)	- (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)

【留意事項】

※1「日常利用室」とは、施設利用者又は職員が常時使用(出入り)する場所をいう。

※2「その他の諸室」とは、日常利用室及び通路部分以外をいう。

※3「通路部分」とは、廊下、階段、玄関ホール、昇降口その他これらに類するものをいう。

※4「船舶」とは、総トン数20トン以上をいう。「日常利用室」を「隻数」と読み替え記入する。なお、「船舶」の隻数・面積は「計」の欄には加えない。